

「道志村と昭和村を体験だ！」

- 団体名：政策局 大都市制度推進本部室 広域行政課
- プログラム実施の目的：
様々な社会体験を通じた「人との交流」の場や、「友好交流」
について考える場を提供する
- 日時：2022年8月18日 10:30～12:00 / 13:30～15:00
- 会場：横浜市役所アトリウム
- 参加児童数：31人 / 保護者・未就学児など同伴者数：24人
- プログラムの内容：
＜昭和村＞リモート農業体験、
＜道志村＞水源涵養林実験、間伐材を使った工作

当日の様子

夏休み・お仕事体験プログラム

子ども
アドベンチャー
カレッジ
2022

＜昭和村＞
リモート農業体験



＜道志村＞
水源涵養林
の実験



＜道志村＞
間伐材を
使った工作



振り返り会



振り返り会

○参加児童の主な感想、意見

- 昭和村のとうもろこしの収穫を見れて楽しかった
- 道志村の工作が難しかったけど楽しかった
- 水源涵養林の実験を家でもやってみたい
- とうもろこしを食べるときに生産者さんが言っていたこと（下記）を思い出しながら食べようと思った
 - 皆さんが「おいしい」と言って食べてくれることが、やりがい
 - 大人になってお仕事を選ぶときに、「農家」をぜひ選択肢に入れてほしい
- 両村の名前の由来がわかった
- 両村に実際に行ってみたいと思った

プログラムを終えての感想

○団体の感想

- リモート農業体験は、初の試みであったが、引率の大人も含め多くの学び・気づきを提供することができたと感じている。将来性を感じる事業のため、今後も継続して実施していきたい。
- 実験及び工作は、涵養林の働きについて、楽しみながら学ぶことができたため、小学生の満足度が高いように感じた。
- 友好・交流自治体である道志村と昭和村を、知っていただくいい機会となった。これを機にぜひ両村へ足を運んでもらいたい。

○学生コーディネーターの感想など

- 昭和村、道志村の魅力が体験を通じて伝わったと感じた
- 振り返り会で、子供の素直な意見を聞くことができた
- 子どもたちが意見を言いやすい環境づくりが難しかった
- 子どもたちが楽しんでいたのが何よりもうれしかった